

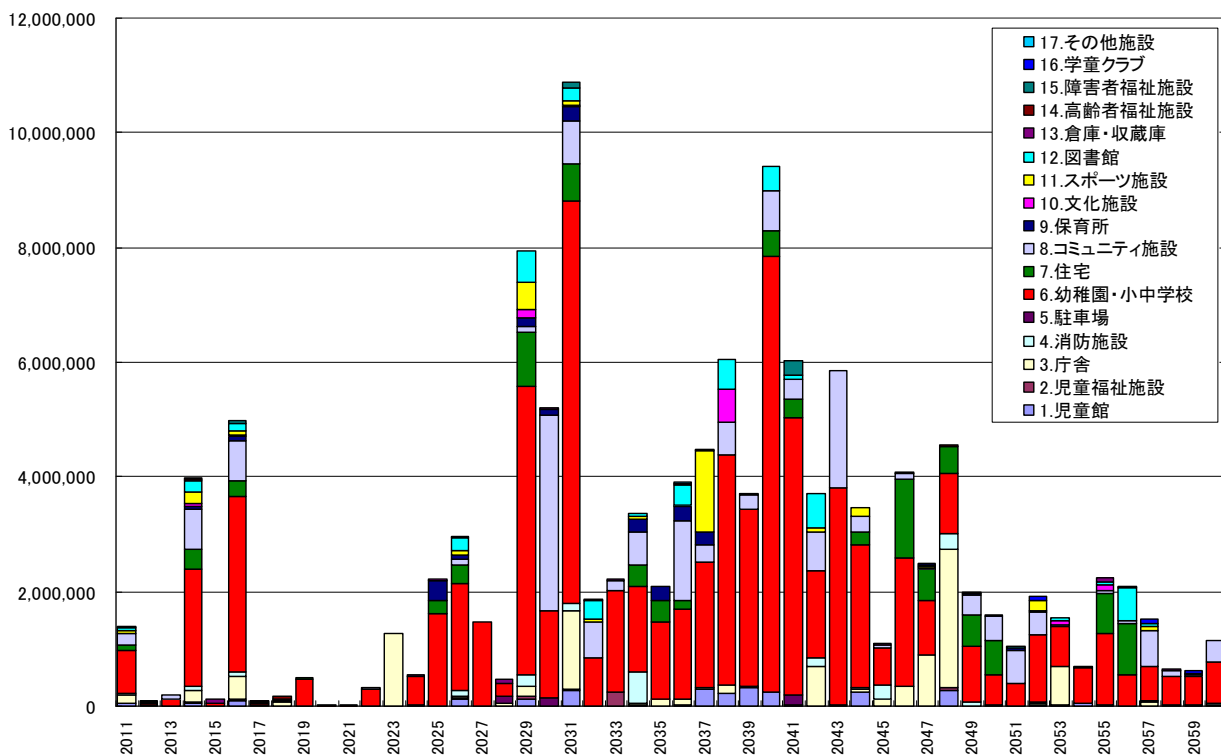
ファシリティマネジメントを考えませんか？

高度成長期やバブル期に建設した公共施設は、今後修繕や建て替えが必要になります。人口が減少していく時代に、厳しい財政状況の中、すべての公共施設を現状通り維持していくことは至難の業です。


株式会社三菱総合研究所が開発した「FMマスター」は、施設の修繕・更新・改築（新築）経費について、建物の種別、床面積、部位部材の単価、工事区分ごとの工事周期、土地情報などをもとに、詳細な現地調査をしなくても中長期にわたるシミュレーションを行うことができるものです。

いつ、どのくらいの経費が必要なのか、その経費は捻出できるのか、できないとしたらどの建物の修繕を遅らせ、どの建物をなくしていくのか、その判断は誰が何をもってするのか、今、多くの自治体がファシリティマネジメントに取り組み始めています。

将来必要な修繕費用（人口10万人の自治体の例）



FM Master と付随する業務

- 1 既存資料の整理 200 万円
- 2 精緻な資料の収集（現地調査・アンケート） 500 万円
- 3 施設分析（全体・用途ごと・施設ごと） 400 万円
- 4 公共施設白書本文作成 150 万円
- 5 **FMマスター導入 300 万円** 
- 6 修繕計画作成 300 万円
- 7 FM体制構築 100 万円

※概算の税抜き価格です。別途御見積いたします。
ぜひ一度ご相談ください。